愛國婦人會機關

愛國婦人

每月五日二十日發行

（定價）一部金六錢三個月拾八錢半年分參拾六錢壹ヶ年分七拾貳錢全國無遞送料郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢
發行所　東京市麴町區下二番町三十七番地大日本女學會内　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社説

日本婦人の忍耐力

西洋に於て麻藥治療の發明されてより以來、婦人が産をするにも、大抵麻醉劑を用ゐるが例となッたのであるが、獨逸に留學して、婦人科を研究した某醫學博士の談に、西洋の婦人は通常忍耐力に乏しく、妊婦が産氣づきたる時、陣痛の苦悶非常にして、あたり憚らず泣叫び、甚しきに至ては、氣の毒さうな顏付て側に居る良人に、怨言を放ちて罵詈する婦人さへある。醫師は見兼ねて、麻藥をかけてしまふのである。といふ話であッた。尤も西洋の婦人は、コルセットを用ゐるため、又は踵の小さい靴で階子段を昇降する事が多いため、難産が多く、産の時間も統計上日本婦人よりも長いといふ樣な譯から、苦悶の有樣も甚しいのであらうが、一つは忍耐力に乏しいのである。日本婦人は中々たしなみ深くて、陣痛の爲に泣いたり叫んだりする者は少ない。産に麻藥の必要はあまりないと云ふ事である。又日本人の内でも、男子は女子ほど忍耐力がない。外科治療の場合でも概して女子の方が能く痛みをこらへる。又腸チフスなどで四十度以上の大熱で危篤に瀕した大病人でも、女子の方が直る事が多い。是れも女子は忍耐が強くて、男子の樣に苦しまぎれに癇癪をおこすといふ樣なことがないからであると、醫師の談であッた。斯樣に日本婦人は忍耐力が強いのであるが、此日本婦人の忍耐力は、大に日本の國力に關係を持ッて居るものではあるまいか。斯樣に忍耐力の強い日本婦人の腹より生れ出て、其家庭の訓練を受けた爲に、日本の將卒が勇武絶倫にして、如何なる艱難にも耐へ得るのではあるまいか。日本婦人は斯樣に忍耐力が強い故に、出征軍人の母たり妻たり姉妹たる者に、健氣なる婦人が多く、其爲に將卒に後顧の患がなく、能く大に士氣が振興するのではあるまいか。日本將校の夫人にはステレクスチー艦長夫人ナタリー、セルゲーフの如く、夫の安否が氣遣はれて心痛に耐へず、佛蘭西公使に日本へ聞合さんことを依賴してはねつけられ、遂に直接に敵國へ夫の安否を聞合はす樣な、雌々しい婦人があるであらうか。露軍の兵士が出征を命ぜられた時、其母が停車場へ見送りに來て、子につかまッて何うしても放さぬので、士官は遂に劍を拔いて其母を斬捨て、兵士を汽車に乘せたといふことであるが、日本兵士の母に斯樣な不覺な者があるであらうか。是等の事柄に由て觀るも、日露兩軍の士氣の上に懸隔のあるも、決して偶然であるまい。嗚呼日本婦人の忍耐力！めでたき此特色の長へに消磨せざらんことを祈る。

◎戰時の女子に告ぐ

伯爵夫人　大谷籌子

本會々員本派本願寺の大谷伯爵夫人は戰爭の始まりてより以來各地を巡回し負傷せる軍人を慰め各種の婦人團體に臨みては講話せられぬ本篇は去にしころ築地令女教會に於て講話せられたる要領を記者が筆記せしものなり

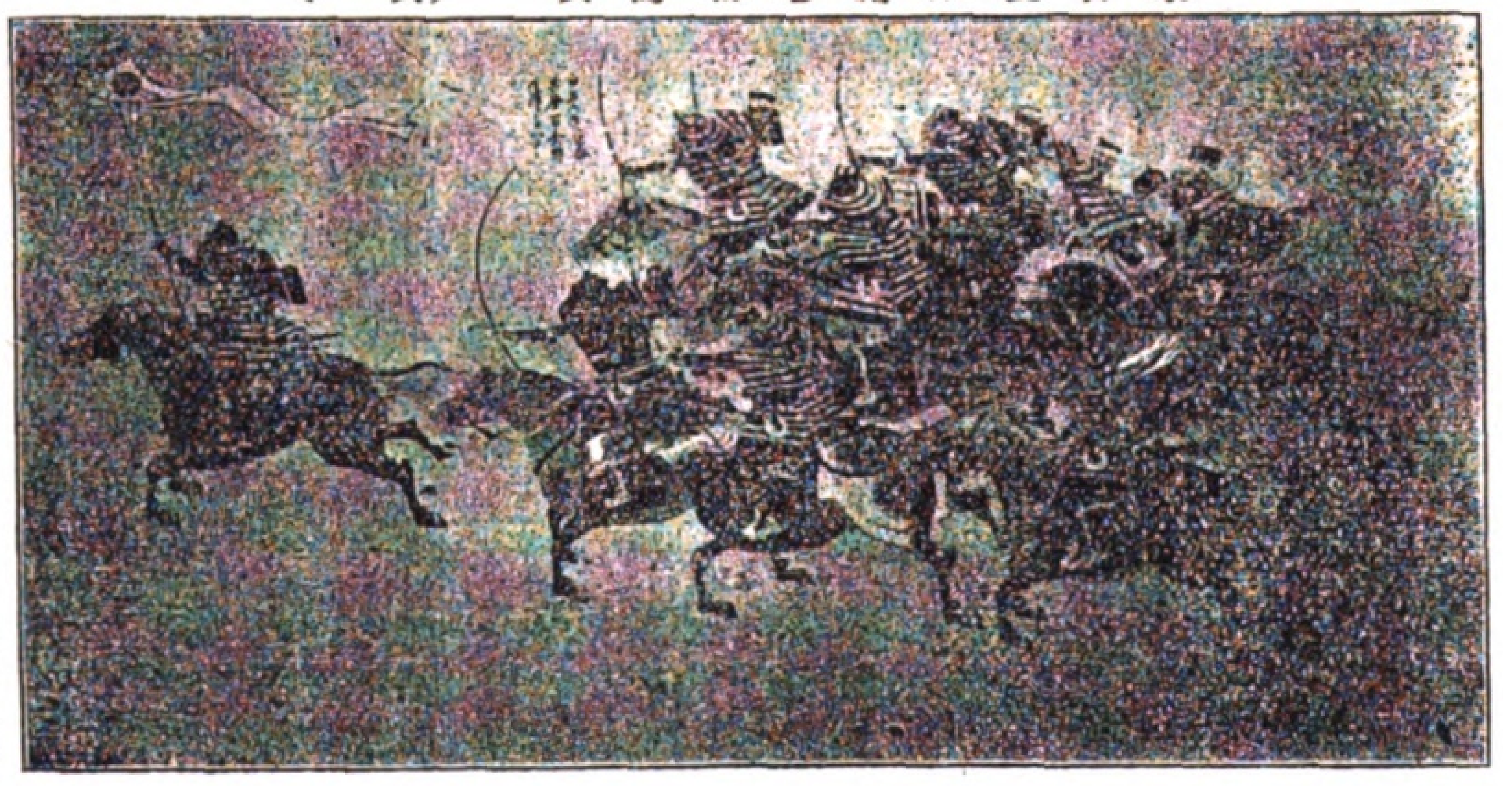
此教會は明治廿一年の創立で御座いまして皆樣方には既往十有餘年の久しき間月々當院に御集りになりて御法味愛樂したまふは誠に喜ばしき事であります。

私も先年一度此席にて御話致した事もありましたが其頃は世の中も穩かでありましたが其れに引替へて今年は未曾有の一大事變に遭遇いたしました此時局に付ては私共婦人の上に於ても男子に劣らぬ樣報國の務を心がけねばならぬ事と存じます。依て先般來西海北陸の各地を巡回致しまして負傷せられし軍人を慰め或は婦人の教會に臨みなどして聊か思ひよりたる事共を申しました次第で御座います。

此時局に就ては都も鄙も種々樣々婦人の團躰が出來まして或は負傷者看護の事に從ふとか或は戰死者の遺族を救助するとか云ふ如き事に力を盡さるるは本より然るべき事と存じます

今此教會は眞宗の教義を本として一入よき摸範を世に示し給ふべき事を希ひます萬につけて心慥に如何なる時にも如何なる事にも驚く事なく危む事なく如何なる辛苦にも如何なる困難にも能く耐へ能く忍ぶ事が第一かと存じます

それには貴き佛の御教を聽き佛の慈悲の廣大なるを仰ぎ之を以て心の礎とするが肝要であります


蒙古襲來繪卷物寫眞（其一）

佛は常に衆生を愍みまします大慈大悲よりいかなる艱難をも厭ひ給はず我等が爲めに功德を成就し給ひて之を與へて我等を助け給ふ其の御心の堅固にして變らせ給はぬ誓ひこそ我等が賴むべき御力にてましますと信じ奉れば我等が心も自ら慥になり深く信ずる事金剛の如く聊かも疑ふ事なく聊かも危む事なき身となる事とかねて聽聞して居ります此安心に依りて報恩の營みも出來れば身を粉にし骨を碎きても憚らざる樣になりますされば今度の時局國家の大事上御一人の御心を推し測り奉れば如何斗り國民の爲に宸襟を惱まし給ふらんと恐入り奉る事なれば我等は如何なる艱難辛苦を忍びましても國家の洪恩に報い奉らねばならぬ又出征せる軍人達の身の上を思ひやりては浮華に流れず勉め勵みて婦人にふさはしき振舞をなし父兄良人を助けつゝ子女の教育に怠らざる樣斯く我國人皆々一つ心になれば終局の勝を得て平和を永遠に保ち給はんとの叡慮も貫き帝國の稜威の萬國に輝かん事は聊かも疑ふべき事はありませぬ返す返すも金剛堅固の信心を基として國家萬世天壤無窮の皇運を扶け奉る樣に心がけますが肝要なりと存じます。

○滿洲軍總司令官の進發をことほぎて
評議員　中山幸子
あたなみなうち平けてかちときのこゑをあげつゝかへる日をまつ

○元帥侯爵大山君の進發をことほぎて
大君のおほせかしこむ時のきていと男ましき君か出陣

○陸海軍大捷　三重　中谷加代子
海にくがに戰かちて日の本のみいつはよもにかゝやきにけり

○戰捷をきゝて　廣島　有元光子
あめの下とよまぬくまもなかりけりわかゝちいくさ祝ふもろこゑ

○恩賜義手義足　大阪　打越和喜子
御めぐみにうけたるその手其足は永くおのれのほまれなりけり

○祝捷會にまかりて　東京　三好靜子
勝いくさ祝ひまつるとともす火の赤きは民の心ろなるらん

○大谷籌子夫人の時局につきて國々めぐりたまへる由承りて　大阪　利井妙子
世の人のかゝみとこそはなりにけれ御國につくす君かまことは

○九連城占領　神奈川　寺田光子
あなうれしあな心ちよやみいくさは海にくがにかちときの聲

○出征軍人の妻　兵庫　米田信惠子
月みても花なかめても想ふらんいくさのにはのつまはいかにと

○敵前架橋　岡山　稻葉八千代子
男ましく渡りおほせて武士のほまれを流すありなれの川

○夫の出征を送る　茨城　船江歌子
ふる里に心のこさすたくひなきいさをゝ立てゝかへれ我背子

○出征を送る　東京　關澤てふ子
親も子もあとにのこしていさみゆく御軍人を神守れかし

○我軍艦遭難を哀みて　東京　上原とわ子
思ひきや鷲の羽風もあらなくによしの初瀬の花ちらんとは

○旅順口閉塞　福島　横川季子
うちいたす敵のほつゝの的となりて舟沈めけり丈夫のとも

○臨戰地看護婦　京都　小田三千代子
御軍のみとりにつくすをみな子のそのま心にきすもいゆらん

○マッキー女史　京都　川端あさ子
外國の人もみとりに來たりけりいかてわれらのつくさゝるへき

電話番町一千三百三十番

◎本號には附錄として評議員伯爵夫人德川知子京都支部幹事半井佐賀子熊本支部幹事東やす子の肖像を添ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉信用組合の話

會員　子爵夫人　加納鎰子

○幸福國の理想　世には勤儉貯蓄を説く人は多くありますが、其説は甚だ漠然とした嫌ひがあります。説く説は立派でありましても、其實行は之に伴ひませぬ。又如何なる場所に貯蓄して宜しいか、如何なる方法を以て其資金を運轉して宜しいかは、解釋したものはありません。つら〳〵今日の世の中の事を考へて見ますに、富む者は益々富んで往き、貧きものは益々貧しくなるやうであります。斯くては國の鞏固は得られません。多數の人が幸福であつてこそ國がよく治まると申してよろしいか、少數の富む人ヨり幸福であつて、多數の貧者が不幸を見るやうでは國が治まッたとは申されません。日本の現状はどうでありますか、國の富が段々少數の手に集り、貧民の數が漸々增加して行くと申す事ではありませんか。斯くては國の土臺が小さくなり、甚だ危險であらうと考へます。

○何故に貧なるか　何故に富む者は益々富み、貧者は愈々貧に陷るでありませうか、夫れは金持ちは金錢の融通を得る事が便利でありますが、貧民は資本を得る事が困難であるからであります。又貧民に貯蓄を喜んでするが如き方法が無いからであります。そこでこの信用組合と云ふ事が必要になッて來ます。信用組合の目的の大躰は、中流以下の人々の生活の困難を救はんとするので、其方法としては細民が得る所の零細の金を日に積み月に貯へて、之を組合の出資額に充て、數年にして十圓又は十五圓の資金を作り、其資本を以て名々の必要に應じて、低利にて長期の間無擔保で手輕く迅速に資本を貸す方法であります。

○一文無しで百圓を借る法　と申すと皆さんは驚かれるでありませう、手品師ならばいざ知らず一文も持たん者が百圓も借る法は世の中にないと思はれませうが、信用組合では實際現にそれを借して居るのです。そこが信用組合の妙所で、信用は金なりと云ふ金言が適切に應用されますのです。即ち農業者には農具の買入れ牛馬種子肥料等の購入の資本を貸し與へ、工業者には木材の購入の使用賃銀等を貸し、勞働者には荷車荷馬を自己の所有として營業を爲さしむる費用を貸す等、皆信用組合によッて救ふ事を得るのです。

○一村四千圓の基金集る　手品にも種がありますが、組合にも組織があります。其組織の大略を申しますと、一人一日一錢ッヽ、組合の資金に懸け、十五圓に達するを以て滿株とします。一人は一口以上隨意ですが十口以上は持たれません。これは强者の專橫を防ぐ爲です。其資本を組合員の人は無擔保で貸すのですが、其貸した利息は組合員に分配するのです。其金を集めて先づ組合の資本を作ります。本年一月までの現況は組合員が百六十三人出資口數が三百十二口拂込の金高が二千六拾八圓七拾四錢別に貯金が二千三百六拾七圓貸付金が三千七百七拾圓僅か二百人足ずの組合員ですが二ケ年も經たぬ内に四千圓の資本が集り三千餘圓の貸金を組合員になし、有力なる活動をして居ります。

○信用の基礎　組合が貸した金を損せぬ工夫は十分立ッて居ります。それには村の内に信用評定委員數人を置きまして、年の始めに當り、彼の人は何程まで、此の人は何程までは貸しても大丈夫だと云ふ標準を立てゝ置き、其標準に依ッて貸し與へるのでありますが、借り人の外に組合員の一人は連帶保證人に立ちますので、其保證人の貸與へ標準額も加へて貸しますから、拾圓の外財産のないものでも五百圓も千圓も貸す事が出來ます。斯樣にして組合員互に信用を重んじますから、損失を招く事はありません。

○江戸子の氣象　宵越しの金は遣はぬと申しますが、斯る心得違は家の爲にも國の爲にもなりません。併し貯金を最も面白く且簡易に迅速にさせる工夫が必要てず。組合では貯金箱を各組合員に配り置き、鍵は預かッて置き、時々集金人が其鍵を以て各戸に付て回り、其貯金を預ッて戻る工風を爲し、領收證も簡單なもので、丸形の小票を用ゐて居ります。

○婦人も生産的事業に盡せ　私が毎日其貯金なり貸出しなり拂戻しなりの事務を取扱ッて居りますが、組織さへよく調うて居りますれば決してむつかしい仕事ではありません。地方に居られる會員の方々も卒先して村の人を富ます工夫を計られん事を希望します。

◉日本の女振に就いて

元農商務省保險課長　矢野恒太

○軍資の調達方法　近來日本といふ國も中々男振を上げました、私は男振りか上ッたと申します、其女振りとも云ふべき臺所の事即ち經濟の一點に至りましては遺憾ながらまだ大に上ッたとは申されません彼の米西戰争で米國の軍費は大したものでありましたが其大部分は紐育に在る生命保險會社が調達致しました即ち米國の臺所では平生から生命保險を利用して莫大の貯金即ち四十億圓以上用意して置て勝手に引出の出來ぬ金が貯へてありましたから此一財源で戰費は出來ました

○貯蓄の最良方法　日本では此度の國庫債劵に全國の保險會社から漸く一千万圓應じました米國とは比較にはなりません是れは國民も政府も保險と云ふ事を知らないからでありますこれは保險と云ふ文字を誤解されて其本能とも申すべき强制付長年貯蓄といふ性質が世間に知れないからでありますなぜ强制付だかと申しますに中途で引出せば損になる貯蓄を忘れて居れは催促さるゝ故に一旦約束した上は勤勉しても掛金を作り儉約しても之を殘すので所謂勤儉を奬勵する貯蓄であります

○勤儉貯蓄の意義　私は嘗て勤儉貯蓄の意義を解して勤は富を捕ふるの術儉は富を産むの術にして貯蓄は富を養育すべき術なりと申した事がありますが此勤儉貯蓄を奬勵する方法は生命保險に若くものはないのです故に西洋諸國では上皇室始め王侯富貴の人々卒先して加入し國民を奬勵して居ります

○銀行貯金は迂遠なり　銀行貯金と保險と競べて見ますに保險では十圓預けて其日に死んでも千圓は呉れますが銀行ではそんなには返しません銀行に預けた方が得であるか保險に掛けた方が得であるかと申すに此に愛國婦人會員の方で三十歳の奥さんか百人あッて皆二十年拂の終身保險千圓を付けられたと假定します又別に一組三十歳の奥さんが百人あッて二十年間銀行へ預けると云ふ約束を結んだ方とがあります此二組を競べて見ますに保險にあッては一番不幸短命な人は一年の掛金三十四圓を一度出して千圓受取り一番長命の人も三十四圓を二十遍即ち六百八十圓掛けて千圓受取るのでありますが此方は百人が百人共必ず千圓は受取られますが銀行貯蓄は必ず百人共千圓の貯蓄が出來ませうか中には死ぬ人もあり途中で引出す人もあり預入を怠る人もあり繼續する人は必ず百人中三十人位になるでありませう是に依て見ても保險は最良の貯蓄法であると云ふ事が知れます

○人は生れてより一歩つゝ死に近づくものなり「明日ありと思ふ心の仇櫻夜半の嵐の吹かぬものかは」あゝ緣起でもないと云ふやうな淺薄な感情を去ッて極冷靜なる本心から一家の前途を御考へになッたらどうでありませう保險へ這入るは緣起が惡いと云ふ事ですが實際の統計によれば這入ッた方が世間よりも死ぬ人の割合が少い又生きて居る内でさへ碌な考へがつかないに死後の計畫までは出來ないと云ふ人もありますが自分の無分別をさらけ出した言葉であります生きて居る中とは何年後のことでせう明日でせうか今日の中でせうかそれとも唯今でせうか人の命は一二秒て絶えます二三日間の事を考へる人は今夜死ぬかも知れぬ事は考へて置かねばならぬ事です是を考へぬ人は全然家族に同情なき人です

○商工業の後援　日本に一千万戸あると致し各戸主悉く相當の生命保險を契約すると假定しましたならは各個人の安心立命各家族の獨立貧民の減少教育衞生の普及罪惡の消滅勤儉貯蓄の進歩と云ふやうによい影響が數へ切れぬ程顯はれます各戸平均百圓の契約をなすと決定せば其瞬間に十億圓の財産が國民の勤儉によりて貯蓄せらるゝ約束が出來毎年の保險料三四千万圓は不意に引出さるゝ憂のない資本となりて金融界に利益し商工業の一大後援となるのでありますから勤儉貯蓄主義に賛同せらるゝ愛國婦人會の淑女達がた斯業の爲に一臂の御助勢を與へられ以て日本の女振を擧げられん事を希望します

◉無題錄

文學士　下田次郎

○人生はその日その日の味ありたゞ先を樂みにして今日を輕視するものは良く人生を味ふものにあらず小兒には小兒の樂みあり青年には青年の樂みありて各　絶對的價値を有す決して準備時代として草紙に使ふべきものにあらざるなり人は其時々を味ふて今日は今日だけの樂を求むるを要す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

史傳

延政門院

評議員　下田歌子

延政門院と申し奉るは、後嵯峨天皇の皇女なり。皇女、御齢未だ四歳ばかりに在しましける程に、能く論語を諳んじ給ひ、ほゞ其義にさへ通じ給ひけり。されば、御父帝の御おぼえも殊に愛たく、萬づの物學び何くれと、敎へ導かせ給ひぬ。かくて、春暮れ秋去りて、皇女八つに成らせ給ひける頃には、既に、能く文を綴り給ふに、大人も及ばぬ御才の程、怖ろしきまでに渡らせ給ふよと、御師もほと〱舌を卷きけり。ある日、御父仙洞御所(後嵯峨天皇)に參らんとて、某の朝臣の、皇女の御殿に伺ひ奉りける折、「やつがれは、今より、仙洞御所へ參るべきにて候ふが、何まれ、奏し申すべき事の、在しまし給はゞ承り候はん」と啓し申されけるに、皇女は、其時しも、御硯召し寄せて、御手習ひすさび居給ひけるが、「これより仙洞御所へ參らんとや。さらば、これ奉れ」とて、さし濡らし給へる御筆して、御懷紙に

　ふたつ文字牛の角文字直な文字
　　ゆがみ文字とぞ君はおぼゆる

と書きて、押し卷きて出ださせ給ひつ。朝臣は、命せを畏みて、取りもて往きて、仙洞に奉りけるに、父帝を始め奉り、人々みな驚き感じあへりとぞ。

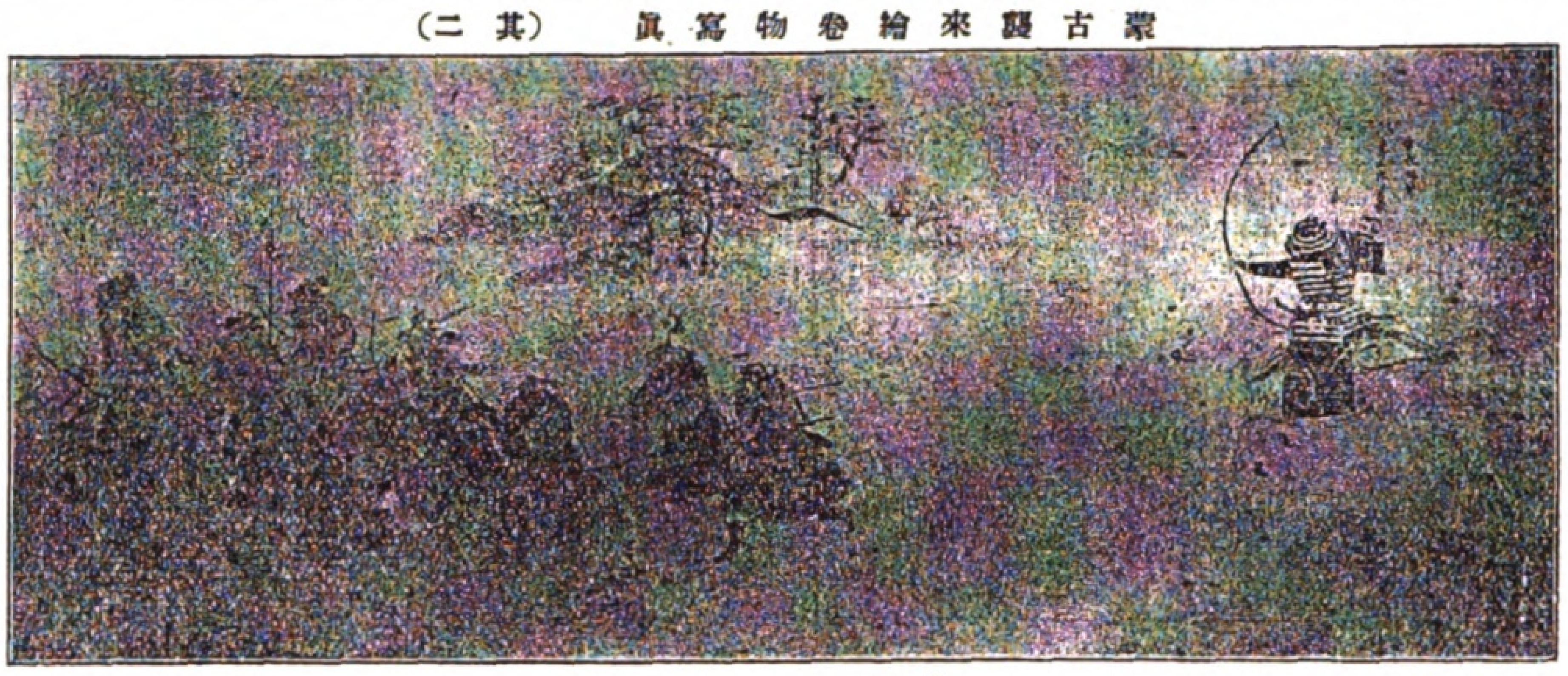
此御歌のこゝろは、ふたつ文字とは、こ　牛の角文字とは、い　すぐな文字とは、し　ゆがみ文字とは、く　と讀まるゝにて、即ち、こいしく　と言ふ意味を歌に詠じ給へるなり。但し、い　は、ひ　と書くべきなれども、斯かる折の歌は、大人の名家だに、假文違ひをも、時には用ふること無きにあらず、況して、八歲の宮の御詠としては、餘りに、大人びさせ給ふよとさへに、打ち傾く迄にぞありける。世にもいみじき天才に在しましける。

○娛樂と遊戯（つゞき）

醫學博士　三宅秀

○遊嬉の必要　人は日々の食物ですら變化がなければ直に厭惡の心を生ずるものである、況してや家業として日々心身を勞動して居るときには多少の氣の變はる慰が必要である。大人はこれが己の業務であると思つて諦めて勉强をするけれども、天眞爛漫たる子供の如きは、自分の好んで居る遊戯ですら、暫らく時間が經つと、直ぐに遊を變へなければ面白くない、直きに厭きて來る。

○學校の遊戯　近頃の學校教育には、ものは殆と一課目にして加へて在る位で、遊戯と云ふ體の運動を敏活にしたり、耳目を聽くしまする効能もあるし、又傍ら音律のことも覺えさせる爲に、唱歌なども乘ねさせて在る。之に依ッて其他の學業を學ぶときに倦まないやうに、遊戯と云ふものを其間に交へて在る。



蒙古襲來繪卷物寫眞（其二）

○學校外の遊戯　又學校遊戯の外に、女子ならば手毬を突くとか、追羽根をするとか、手玉を取るとか云ふやうなことをする。男子の遊では凧だの獨樂だの竹馬に乘るとか云ふやうなこと、皆身體の運動を敏活にして、精神を慰めるものであるからして、詰り衞生上に皆效があるのである。

○小兒遊戯　併し乍ら市街の雜沓な場所や道端は、斯の如き戸外遊戯を爲すと云ふことは、一方で通行人の妨となり、又一方は其本人に取ッても危險が少なからぬことであるから、歐羅巴あたりでは、市街地に特別の小兒遊戯場と云ふものを設けて在る。是は安心して子供か遊戯をすることの出來るやうにしたので、衞生上最も必要なものである。

○戸外遊戯の効用　凡て大人でも小兒でも室内で行ッて居る遊戯よりは、戸外遊戯の方が身體を空氣・日光に曝されて、淸潔の空氣の中で働いて居ると、冷かな空氣が皮膚を刺激するので、大に精神が爽快になる、又眼界も廣くてよい。凡そ眼先きの廣い所を眺めて居るのは甚だ精神の爽快なものである、昔から花見・遊山・神社詣・汐干・茸狩・遠足・遠乘などと云ふことも、詰り戸外遊嬉として行はれて在ッたのである。近頃はローンテニス・船漕・クリケットなどと云ふことの行はれるは頗る衞生上に良い遊戯だと思ひます。

○効外の散步　若し斯のごとき遊戯をしないでも、市街に住んで居るものが、少しく野廣い所を散步でもして見やうと云ふ場合に、公園がなくては散步も出來ぬ樣な譯になるからして、宛然子供の遊戯所と同じやうに、大人に對しても公園の設が必要である。

○自轉車　自轉車の如きも、最初に相當の敎育を受けて之を操つることに熟練してから用ゐれば、決して危險は無い筈のものであるけれども、既に自分の身體に病氣が有るときには、大に此自轉車が障になることがある。又假令健康な身體でも、餘り劇しい運動をしたならば、自轉車は全く無害と云ふことを言ひ難い譯であるからして、適當に行れば遊戯としても或は實用にしても、自轉車は至極良いものだらうと思ふ。

○老人の運動法　又老人又は病人などであッて、自分から外出などの出來ない樣な者は、籠駕に乘り或は舟車に乘ッて外出運動をしても、是は皆他動的の運動と云うて、自分が運動をせぬでも、他の人に負はれて外へ出るとも、皆精神を慰めるとになります。能く親孝行の繪などを見ますると、親を脊負うて戸外に出歩きをしたり、又は老人の肩腰を按摩したりすることが見えて居りますけれども、是は皆他動的運動と云ふので、子供の如く自分で運動の出來ないときは、斯う云ふ風なことをして精神を慰めるのであッて、衞生の目的に副へ得るのである。

○勝負事の遊嬉　遊嬉の中に、運動を兼ねないで、唯精神だけを使ッて記憶力・考察力などを强くし、多少腦力を要する勝負事があります。碁・將棊・雙六・骨牌遊の如き、是等の遊嬉は、其遊びに耽ッて久しく坐ッて居ッて、運動せずに夜を深したり、睡眠時間を失ッたりすると云ふやうなことは、衞生上に害であるけれども、少し自分の好きなものなれば厭も來ず、又疲勞も覺えることが甚だ少ない。して見ると云ふと、精神を使ッて刺激するのではあるけれども、却ッて此精神を刺激するのが亦一つの慰になるので、宛然茶や煙草の如き嗜好物と云ふものは、一方から云へば神經を麻痺させるやうな働きを有ッて居るけれども、適宜にそれを使用すると、精神を興奮して愉快を感ぜしむるのと同じことであるから、度を過しさへしなければ、假令運動のない慰であッても、やはり衞生上に效益があるのである。

○美術の嗜好　其他美術の方の側で書畫或は詩文章を作ッたり、骨董を弄んだり、昔から在る香・花・茶の湯などと云ふやうなことも、皆精神を慰めるものであるからして、衞生に利用の出來るのである。又慰みに手細工をするとか、寫眞をする、彫刻をする、編物をする、植物栽培をすると云ふやうな手業も矢張衞生上に皆益のあるものであらうと思ふ。

○音樂の樂み　音響と云ふものは大に衞生に關係を及ぼすものであッて、都會に住居して居る者は、車馬の走る音の響だの、或は滊笛の聲・機關の音など、晝夜此の如き騷音が耳を刺激して居ると、知らぬ間に神經を煩はして居る。又劇烈なる砲聲の如き、急に起ッた響も耳を損ねたりすることがあるし、或は鑢を掛ける音などで齒が浮いて不愉快を覺える。斯う云ふやうに響と云ふものは甚だ精神の方に障害のあるものであるが、其反對で、音調の能く調ッて居る音樂の如きものは、之を聽いて耳も樂み心も淸々とするやうになり、自然に手足の動くのを覺えぬやうな工合になッて、遂に拍子を取り、或は踊り出すやうになることは、誰も承知して居ることである。

笛竹のよふかき聲ぞきこゆなる
みねの松風ふきやそふらん　齊信

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

家政法規（續前號）

◎漬物

○澤庵漬　たくあんづけは、早く用ゐるものと、晩く用ゐるものとに由りて其の干加減鹽加減等に相違あると、左表の如し。

食用時期	干加減	鹽（但四斗樽一本に付）	糠（但四斗樽一本に付）
漬けてより四十日を經て即ち二月頃食用の分	大根に縮緬皺の生ぜし程のもの	壹升五合	六升
三月頃食用の分	大根に皺よりて尾端のよぢるゝ程のもの	貳升	五升五合
四月頃食用の分	大根の枯れて弓形に曲るもの	貳升五合	五升五合
五月頃食用の分	大根を輪なりにするも折れざるもの	參升	五升
六月頃食用の分	大根一本を二つに曲げ片手に持ちても折れざるもの	四升	五升
七月頃食用の分	結び得らるゝ程能く枯れたるもの	五升五合	四升
土用を越して食用の分	同上	六升乃至七升	三升

但し最初重き壓石をおき、鹽のわきたる時輕き壓石にゆるむべし。桶を日の當る處に置くべからず。又何月食用の分と桶に印しをつけおくべし。

○大根の淺漬　太き大根五十本、麹壹枚（凡そ七合）鹽壹升の割合にて二十日にして漬き拾數日の間は味かはらず。

漬方は大根を桶に一ならべし、其上に麹と鹽とを能くもみ合したるをふりかけ、其上に新わらを十五六本散くなり。斯樣にして何段にもつけて、最後に鹽二つまみ程ふりおくべし。

○糠味噌漬　鹽壹升と水壹升とを能く煮たゝせ、半日以上さまし置きたるを、糠壹斗に混じ、桶に入れ、大根・茄子・瓜等を漬ける毎に、少しづゝ鹽を入るべし。

糠味噌の作り始めは、毎日かきまはし、澤庵大根を數本糠を洗はずして入れ、而して後に大根茄子等をつけこむべし。十數日にして鹽なるゝなり。糠味噌は、水氣の多からず少なからず、程よく保たざれば美味ならずと知るべし。

○粕漬　酒の粕壹貫目に鹽參合の割合とす。三四週日にして用ひ得べきも、四個月後にして漬加減に達す。

瓜をわりなかごを去り、其中に一杯鹽をつめ、一日、日にほしたる後能く洗ひ、さて鹽少しと糠とを交ぜたるを、桶の底に三寸の厚さに敷き、其上に、眞中に二寸徑の穴をあけたる中底の板を置き、其上に瓜を互に觸れざる樣にあをむけて並べ、酒の粕にてうづめ、輕き壓石をかけ置くべし。

茄子・細根大根は、薄鹽に漬けたるをサッと湯をくゞらせ、一日干して右の漬方にて漬込むべし。但し、是れは一年過ぎし頃粕を取かへ、三年の後十分に漬くものとす。

○味噌漬　鹽からき二年味噌のたまりがちなるに漬込むを可とす。通常百日以上にして漬くなり。

△大根は　薄鹽の澤庵漬としたるを取出し、水氣を拭ひ、二時間許陰干にして、桶の底に漬けるなり。

△午蒡は本末を去り、中程六寸許を湯にくゞらせ、大根と共に漬け置くべし。是れは一年以上にして漬き、年經つ程味美なり。

△胡蘿蔔　是れも本末を去り、五六日風にあて、薄鹽につけ、一個月を經て晴天に一日干して漬けるなり。

△蕪　莖を一寸許つけて薄鹽につけ、強き壓石をかけ、晴天に一日干して漬くるなり。

△獨活　山うどを二三日陰干にして漬込むべし。

○櫻漬　鹽三升を水三升にて煎じ、一夜さまし、半開の花を、ひた〳〵につけ、輕き壓石を置くべし。

○梅漬　梅一斗に鹽三升の割合にて、最初は壓石を輕くし、鹽のしむに從ひ、漸次強くす。鹽のしみたる頃、紫蘇を入る。紫蘇は鹽をふりてかたく搾り、一旦赤汁を搾り盡して入るゝを法とす。十七八日を經て、簀に擴げ、晴天に一二日干して器に納むるなり。若し久しく貯へんとするには、晝は干し、夜は梅酢につけ、反覆する事三日許にして後更に四五日間晴天に干し、能くひからびたるを壺に納め貯ふべし。

○味噌　は大豆十分麹六分鹽四分の割合とす。但し白味噌は麹を多量にするものとす。

◎家屋の掃除に就て

家屋の掃除はすべて目につき難き暗き處を丁寧にすべし暗き處は兎角見落すものなり又雜巾は度々洗ひ出して固く搾りて用ゐるべし不潔なる雜巾は敷居鴨居などの隅に垢つきて見苦しきのみならず細菌を生じ爲に健康に害あるなり

臺所と厠との掃除を丁寧にすると尤も肝要なり臺所不潔なる時は其處にて調理する食物も隨つて不潔となるべし排水槽も其の水はきに能く注意し食料の殘物など凡べて腐敗物をしまひ置かざるやう氣を注けて取捨つべし庖丁小刀に錆の生ぜぬ樣氣をつけて磨き手桶又は水瓶の水の長く汲置きにならぬ樣にすべし殊に夏分は汲置の水を飲用に供すべからず煮たる食物を皿或は鉢に盛り之に蓋をなさずして長き間置くときは空中の種々の有機物其中に落入りて黴を生じ或は蠅など群集して不潔の媒介を爲す虞れあり芥溜は成るべく家に接近せざる樣にすべし汚穢物分解し臭氣を放ちて健康を害するなり田舍にては家を離れたる處に運び置きて肥料とするの便あれども都會にては殊に注意し溜らざる樣に芥取會社などに取去らしめざるべからず

厠は務めて毎日能く掃除すべし不淨の帚雜巾を別に備へおきて決して混ずべからず夏分は掃除したる後五十倍の石炭酸若くは煆製石灰を撒くべし或は桐の葉を數枚取り來りて鉤に吊しおくも能く臭氣止となるべし若し來客などありて急に厠の臭氣を消さんとする時は桐又は無花果の葉を三四枚取り來り之に水をふりかけ細く切りて屎壺中に投入すべし暫時にして臭氣去るなり

◎蟻を防ぐ法

夏日は蟻の群りて座敷に這ひのぼり殊に小兒のある家などにては菓子の屑砂糖のこぼれにあつまりいくたび掃き淸めても驅り盡す能はずまた庭の果樹などにつきて植物に害をなすものなりいま蟻を驅る簡便の法は和布を煮たる汁を軒下または庭にまけば一夜にして夥しき蟻のすがたも見えずなるべし

◎夏の辨當の防腐法

夏の辨當に就いての弘田醫學博士の談話此程の報知新聞に揭げられぬ有益なる注意なれば記者が心づきし防腐法をも附記して玆に揭げる。

當月からは授業も午前中の事になつたが初夏の頃から既に充分食物の事に注意を拂はなければならぬにも係らず母親たる者が子供の辨當は唯形式的に持たして遣るやうな始末だ何たる不注意なことであらうか、辨當の器へは朝炊きたての飯を詰めるし菜を其の溫味のある上へ詰めるから晝頃には既に其の飯や菜が腐敗に傾いて居る事は往々ある、然るに頑是なき子供等は空腹なる儘に夫れ等の臭味のあるにも頓着なく半分位は夢中で食べて仕舞ふのです、斯ういふものを食したら必ず消化を害して疾病の媒介をなすことは之迄に實例が澤山あつた

さて、辨當の腐敗を防がんには、炊きたての飯を平たき皿に盛り、煽いて冷したる後、辨當箱につめて好。是れは記者が永年實驗せし處なり。熱飯を其儘つめる時は菜のみ冷たき爲に臭くなるものなり。されど、飯と菜と共に熱きものならば、腐臭を放たざるなり。會員方には、いろ〳〵經驗のある人々多かるべし。幸に辨當の防腐に就いて寄書あらんことを請ふ。

◎泰西婦女訓

○男子が精神上に戴ける甲冑の紐を婦人の手を以て紲る事を忘るる勿れ紐緩ければ不正に陷る事多し

○戰爭を好むは男子の常なり之を止むるは婦人の責任也故に機會あらば戰爭をやむる事に怠る勿れ

○男子の精神より惡しき枝の伸びるを常に剪取る事を忘るる勿れ良妻とは恰も巧妙なる植木師の如し

○夫の怒りに觸れて縱ひ手打ちに遇ふとも不義なる行爲に組する勿れ從とは善に從ふべしとの意也

○褒めよ勸めよ戒めよ諫めよ常に固き心を以て其夫を愛せよ假りにも柔弱なる寵愛に陷る事なかれ

○人間に嫁したる也神の妻となりしに非ず若不平の事あらば不完全なるは人類の常たるを忘るる勿れ

◎大山大將荷車二輛の贈物を受く

大山大將滿州軍總司令官として出發し東京より廣島までの汽車中にて受けたる贈物斗りにても荷車二輛に充てりと云ふ特に最も感ずべきは農作に從事するものゝ肥杓を振りて萬歲を叫び或は水車を踏みつゝ萬歲を唱るもあり其歡迎の熱心にて誠實なる事には大將も感極つて嬉し涙を催されたりと云

大日本女學會

小松宮賴子殿下の總べさせらるゝ本會は十年來女學通信敎授に從事し本會の敎を受くる女子既に三萬人に及べり●本會の目的は女學の講義錄を發行し小學校を卒業せる女子にして種々の事情に支へられ高等女學校に入學する事を得ざる者に家庭に在りながら諸大家の講義に係る女子必須の諸學科を修學せしむるに在り●講義は平易懇到なる上に假名をふり傍訓をも加へあれば初學の人々にても了解する事を得べし●講義は嶄新高尚なる學說を平易に述べたるものなれば素養ある婦人の參考書としても極めて適切なり●講義錄に高等簡易

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本女學會

講義錄を發行し小學校を卒業せる女子にして種々の事情に支へられ高等女學校に入學する事を得ざる者に家庭に在りながら諸大家の講義に係る女子必須の諸學科を修學せしむるに在り●講義は平易懇到なる上に假名をふり傍訓をも加へあれば初學の人々にても了解する事を得べし●講義は嶄新高尚なる學說を平易に述べたるものなれば素養ある婦人の參考書としても極めて適切なり●講義錄に高等簡易兩科あり會費は簡易科金貳拾錢高等科金四拾錢とす●はがきにて申込あれば直に詳細なる會則を呈す

東京市麴町區下二番町三十七番地　(電話番町一三三〇)

大日本女學會

愛國婦人會記事

●理事相談役會　本會を法人組織にするに付き定款制定協議のため本月十一日午前八時より理事相談役會を開けり出席者岩倉會長大山谷の兩理事相談役二條公爵岡部子爵清浦男爵出席したり

●評議員會　例會を本月十三日第二水曜日に開けり來會者は會長岩倉久子理事大山捨松子谷久滿子を始め評議員阿部篤子松平八百子戶田時子松平雅子松平須磨子千家俊子山地謙子濱尾作子關むら子岩佐德子高木富子藤井とく子澁谷かち子阪井春子長岡芳子栁橋絢子中山幸子佐方鎭子鳩山春子仁杉歌子山脇房子豐島文子室田せい子柳谷千代子佐々木貞子有島幸子渡邊いね子高木から子長井とし子菊地かん子南鄕柳子相馬陸子出席の上本會定款の編制評議員會の規則改正等につき協議したり

●評議員開會期日　本月及び來月分の評議員會は左の日割にて午前八時より開會する都合なり

七月廿七日(第四水曜日)

八月十日(第二水曜日)八月廿四日(第四水曜日)

●英國人へ送りし謝狀　在香港英國人より一万七千圓寄附せし事は前號に掲げしが今般會長より左の謝狀を贈られたり

謹啓我邦の露國と交戰の事ある異に勢ひ止を得ざる次第に御座候へども一旦平和の破るゝ上は擧國一致の實をあげ我々婦女も同心協力して聊か盡すあらんことを期し微力を顧みず戰死軍人遺族の救護を爲さんとし徐々畫策の折柄今般香港在住貴國人諸氏が深厚なる同情を以て金壹万七千圓を本會に寄贈せられ本會は尠なからざる援助を得感佩の至に奉存候爾後目的を遂行し誓て其厚意に背かざらんことを期す希くは貴殿より香港在住貴國人慈善者各位へ可然御傳達あらんことを敬具

愛國婦人會長公爵夫人岩倉久子

クラウドマクドナルド殿

●東京横濱外國人より寄贈　東京横濱兩地滯留外國人間に設立せる軍人救護會より本會に對し金千圓を寄附されり

拜啓陳ば橫濱東京外人居留地軍人救護會東京委員の同意により私共は茲に金一千圓の爲替劵を封入して寄附致候間貴會の基金中に御加へ下され候はゞ幸榮不過之候恐惶謹言

築地四十九番

會計ルードルフ、レーマン

書記イトジスー、ブロッケース

愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下

追て會長より前項と同意味の謝狀を送りたり

●大山總指揮官を送る　滿州軍總指揮官大山兒玉兩大將等出發の節本會を代表して理事鍋島榮子評議員清浦鍊子松平須磨子高木鍊子中山幸子有島幸子山脇房子の諸氏新橋まで見送れり

●戰死者の慰問と會葬　前號記載後引續き本會より慰問及會葬したるもの左の如し

陸軍步兵大尉野本璃氏の會葬には評議員大谷かち子氏。步兵一等卒高橋幸三氏の會葬には大谷かち子富田せい子兩氏。步兵一等卒淀常吉氏の慰問には幹事田口さだ子氏。步兵一等卒山口龜吉氏の會葬には評議員仁杉歌子幹事中井鍊子兩氏。步兵一等卒松川爲三氏の會葬には幹事大湖たけ子氏。海軍二等機關兵の會葬には評議員仁杉歌子幹事田口さだ子氏。陸軍上等兵大坂常治氏の會葬には評議員佐藤猶子氏。高野藤太氏の會葬には佐竹琢子氏。中村留次郞氏の會葬には評議員高木鍊子氏の諸氏なり

○本會へ寄附　其後本會へ寄附左の如し

一金千圓　京濱在留外國人醵金代表者レーマン
一金百圓　兵庫　エー、ドルユーエル商會
一金百圓　米國人　ローランド、ローウエー
一金百圓　京都　吉田瀧子
一金百圓　麴町區子爵　吉田良正
一金百圓　同　吉田銈子
一金五拾圓　兵庫　川崎歌子
一金五拾圓　同　川崎千賀子
一金五拾圓　石川　深井つね子
一金五拾圓　熊本　岡村みな子
一金五拾圓　同　松村たけ子
一金五拾圓　兵庫　ゼームス、グリーン
一金五拾圓　同　エフ、グリーン
一金五拾圓　麴町區　吉田良貞
一金參拾五圓　麴町區　田中澄子
一金參拾圓　日本橋　中井ます子
一金參拾圓　芝區　高木とも子
一金貳拾圓　日本橋　永富みち子
一金貳拾圓　日本橋　柿沼花子
一金貳拾圓　神田區　湧井貞子
一金拾五圓宛
　下谷　海老原鈴子
　子爵　鍋島直彬
　横濱　ロード、キユルス、コゴラン
　赤阪　羽田三緒子
　淺草　長田亥勢子
　同　岩崎銀子
　同　松崎たま子
　佐賀　鏡婦人會　小松ひさ子
　兵庫　阿部光忠
　牛込　小笠原て◌子
　横濱　小島ゆき子
　小石川　淺野恭子
　麻布　高橋鈴子
　同　ベルツ花子
　日本橋　和田ふさ子
　同　花岡ゆき子
　同　米倉屋知子
　京橋　喜多村まさ子
　芝區　加賀美繁子
一金拾四圓五拾錢　本郷　鶯會
一金拾參圓　芝區　高谷わか子
一金拾壹圓　本郷　三枝よね子
一保字小判　壹枚
一壹分金　六個

右は兵庫縣宍粟郡安師村下村八重子より傳來貯藏せしものを特に寄附せられたるものなり

●各地支部の狀況

○三重縣支部　同縣支部にては本月十月總會を開き總裁殿下より御諭旨を賜はりたり詳細後報

○北海道支部　同道廳支部內函館幹事部に於ては總會を開きたるを以て總裁殿下より御諭旨を賜はりたり

○熊本縣支部　同縣支部にては此程同地佛敎婦人會の發起にかゝる慈善音樂會の收入金の內百六拾圓貳拾壹錢貳厘の寄附を受けたるよし

○長崎縣支部　同縣支部にては慈善市を開き其收入高を本會に寄附するよし

○京都支部　同支部移轉については前號に報じたるが今移轉式の擧を開くに當日の來賓は大森知事、橋本中佐、中村赤十字社幹事等百餘名、支部長大森鈴子、幹事總代河島末菊子、評議員總代大澤幸枝子、相談役總代橋川惠順氏委員總代西村七兵衞氏等の祝辭あり次に有功章及謝狀の授與、顧問大森知事の演說あり餘興には山崎琴書の日露戰爭講談ありて散會せしは午後三時過ぎなりしと

○下婢帶代を儉約して特別會員となる　山形縣山形市上町荒屋千五郞の二女やす(三十)は、性質溫順にして、家に在りし際は克く兩親に事へて生活を助け居たるも、一昨年より同町の久野知義方へ下女奉公に住込み主人大事と立働きしより、同家にても又なきものと目を掛けしが、本人の生家は極めて貧困なるため、給金は殆ど兩親に貢ぎ、僅許りの小使錢を殘し置きたるものを、少しも浪費せず、貯へし金は漸く積もッて十六圓に達したれば、嫁入仕度の足しにも爲さんと考へ居りし折柄、去月三十日主人及び令孃の供をなし、同地方を遊說中の本會遊說員野中彌知子の講話を聞き、女史が愛國の熱誠に深く感じ、軍國多事の際、假令下婢なりとて國のために盡す道は一なり、此際帶などを購ひ居る場合にあらずと、右の貯金を悉皆本會へ即納し、特別會員に入會せりといふ、感ずべき志といふべし。

世論一斑

○戰時に於ける日本婦人の特性　夫の出征するに當り其戎衣の袂を扣へ袖を挽ひ聲を飲み潸々然として別れを惜むは世界一般の婦人の常態である然るに獨り日本の婦人に限りてはかゝる女々しき擧動を爲さす微笑を含んで之を送り一滴の淚さへ流さざるは何故であるか日本婦人には情のないのでもない又淚のないものでもないが只國家危急の時に當りて夫をして未練の心を起さしめざらんが爲に外ならぬのである其心情を思へは實に哀れの極である昨日は夫に別を告げ今日は女の手一つで以て舅姑に仕へ兒女をも育てて往かねばならぬ朝より夜に至るまで身は紡績裁縫割烹洒掃の事に從事し汲々として勤め一の不平もなく內守の義務を完うするは實に賞贊の外はない殊に飛報一度び傳はり夫の戰死を聞くも猶聽かす紊れず靜に世に處し泰然自若の處置を取るか如きは天晴れ婦人の鑑である此精神の發動する源泉は畢竟日本武士的家庭敎育の賜であって男子か戰時に於て忠勇義烈の働きを爲すと等しく女子に於ても同一なる精神を以て敎育せられ其精神か平常家庭に伏在せるを以て此機會に於て發現せるに外ならぬ故に日本軍人の働を萬國無比と云へば留守せる日本婦人も又世界無比と云はればならぬ此戰時に於て顯はれたる日本婦人の特性は明治の歷史を飾るに足るものである。(女鑑社說)

○女子敎育につきて　男子と女子とは其の敎育の目的を異にすべきものであるか又其の心身に强弱の差違ありて女子は到底男子にも及ばぬものであらうか是れ大に硏究を要する次第である日本今日の敎育ては良妻賢母たらしめんとの目的を以て男子の敎科に科せられざる以外の科目作法裁縫家事等を課せられて居る吾輩は敢て之に對して異議を申立てるものではないが女子は男子と同一の學科を科せられたる上に尙多くの敎科を科せられては男子と同一の時間を以ては男子と同一の程度に達する事は六ケ數い次第である女子の爲に妻たり母たるの途を敎ふるの必要あれば何故に男子の爲に夫たり父たるの道を敎ふるの必要がないのであらうか今日の家庭ては男子が夫たるの道を知らないから起る事が其多きを占めて居るやうである將來都會生活の盛んに行はるゝに連れ裁縫洗濯料理の如きは容易に他より辨せられ供給を受ける事が出來るから學校で女子の本來の職業としてこれ等の科目を授けるにも及ばぬやうになるであらう殊に女子にも獨立自營の念盛んなるに及んでは女子も男子と同一に敎育を受けねばならぬやうになり男女共學の必要も生するであらうと思ふ。(女子高等師範學校敎授黑田定治氏所論)

○婦人の二大事業　革命運動と云へば政治に關係した事のみのやうに考へるは誤りである婦人が政治の範圍を放れても世界の爲に活動すべき範圍は甚だ廣いものである其第一方法として文筆の業に從事されん事を勸めたいと思ふ昔しより一管の筆の力でよく社會革新の先鋒者となった婦人は多い筆の前には男女の別はない第二の法としては子供の敎育に依てゆる〱其效果を收めんとするのである今日の敎育主義を一變し主に感情的敎育を施し活きたる心を作る事に心懸けん事を望む。(安部磯雄氏所論　家庭雜誌七號)

○家庭と信仰　家庭とは數人の人が草や木が雜然と生へたやうに一緖に集まった丈のものでない木や釘で造った家てさへ永く住みなれると其間に自から物質的以外の關係が起る感じがする程のものである然るに况んや思想に富める人類が相寄って祖先より子孫まで相通して永久に生活を營む爲に組立てたるの家であるから其間に一貫したる精神が起って來る道理である　これが一家の魂てある家にある個人〱の精神の外に家の精神か其間に存在して居る此精神の基礎は主人及其妻である此精神を益々發達せしめて一家族一同の感化を計られはならぬ。(元良文學博士所論　家庭の友)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰報

◎旅順口海戰　第十二水雷艇隊（司令官海軍少佐山田亨）は六月廿七日旅順口外で　探海燈の盛なる射照と砲臺と軍艦からの猛烈なる射擊を冒して黄金山下にあつた戰鬪艦又は一等巡洋艦と思はるゝ二本檣三煙突の敵の哨艦を襲擊して擊沈さした。此時敵の驅逐艦は我を攻擊した故に、之と砲火を交へたが其內一隻は艦腹を現はし白煙を揚げながら顚覆沈沒した。我戰死者は權藤海軍大尉以下十三名負傷者は天野海軍中尉以下二名。

◎露艦元山を襲ふ　六月三十日午前六時敵の水雷艇四隻元山港に入り來つた居留地を砲擊して多少の損害を與へ又小蒸氣船帆船各一隻を擊沈めて十時三十分頃强雨に乘じて其影をひそめた。

◎浦鹽艦隊の遁走　七月一日敵艦ロシヤ、グロモボイ、リユーリツクの三隻は對馬東水道を南下して海峽を通過しやうとしたので海峽守備の上村艦隊は敵を認むるや直に其前路を扼して之に迫つたので敵は急に舵を轉じて北々東の方向に逃げた。我艦隊は全速力で之を追うたが砲戰距離に達しない內に午後八時五十分頃 敵は忽ち燈火を滅して跡をくらました。

◎海門艦沈沒　海門艦（三等海防艦排水量千三百九十噸）は七月五日特別任務を帶びて作業中 濃霧の爲大連灣外で敵の機械水雷に觸れて沈沒した。艦員の大部分は助かつたが 艦長高橋守道主計長塚原喜入掌砲長松下善之亟外下士卒十九名は 生死不明である。艦長は總員に退去を命じた後部下の勸告にも拘はらず最終まで艦橋に止まつて艦と運命を共にしたのである。

◎黄金山下に於ける襲擊　第六艇隊（司令官海軍少佐內田夏隆）の第五十八號艇（艇長心得海軍中尉中牟田武正）は 七月九日午前五時半頃黄金山下濃氣の內に敵艦アスコリドの碇泊せるを認めて 之を襲擊したが其效果は明ならぬ。同艇隊は 敵の要塞から猛烈なる砲擊を受けた。

◎旅順口外の砲戰　同日午前七時頃から敵艦バーヤン外四隻と砲艦二隻驅逐艦七隻は數多の掃海船艇を先にして 港外に出て午後に龍王塘附近まで來たから我驅逐隊の一部は之と砲戰し第三艦隊の一部は小平島附近で 敵艦バーヤンと多少の砲火を交へたが四時頃に敵は漸次港內に入つた。

◎旅順口に於ける襲擊　第六水雷艇隊は七月十一日午前〇時旅順口港外防材附近に進行し港口のザアナ型に對して襲擊し 第五十七號艇第五十九號艇は之に對して 水雷を發射したが其效果は未だ明ならぬ。我には一も損傷はない。

◎摩天嶺の占領　陸軍の方では分水嶺占領後六月廿九日に前衛隊は連山關に進み一部は七月一日に摩天嶺を占領した。

◎摩天嶺の格鬪戰　七月四日午後四時頃敵兵一中隊摩天嶺の我小哨を急襲した。小哨長吉田少尉は 直に之を後方に報ずると同時に漸次退却して本隊に合せんとする時他の約一中隊の敵が 北方から現はれて我を包圍した。吉田少尉は部下の大部を南方山地にやり、自分は五六の兵卒と共に止まつて格鬪し敵を斬ること十數名 遂に血路を開いて退却した。前哨部隊は砲擊を開いて 直に陣地に就かんとしたが敵の一部が已に我陣地中に進入しつゝあつたので 此悲酸なる格鬪をしたのである。我戰死者は 特務曹長吉原仲次以下十八名負傷中尉河野治一（重傷）少尉小林郁四郎以下卅六名。

◎蓋平占領　七月六日午前九時前後に奥大將部下の一部は四方臺東北及び北方の山頭を守備せる敵の步兵約千六百名を驅逐し 左翼の一部は崔家屯の高地を占領した。岩崎少佐（初太郎）重傷以下即死二、負傷十名を生した。七日八日も續いて敵を驅逐して 遂に九日午前五時二十分から蓋平附近の敵に對して 砲擊を開始して遂に八時頃に蓋平を占領した。其後敵は再度の抵抗を試みたか午後三時頃砲擊沈默した。八日の夜から九日の戰で我死傷を合計すれば約百五十名。

雜報

○軍人家族招待會　帝國海事協會の催しにて去にし十四日午後六時より在鄕出征軍人の家族（陸軍は士官以上の留守家族海軍は水兵以上總て）を歌舞伎座に招待し慰問の意思を以て日露戰爭活動寫眞を見せたるが來會者三千餘人にして七時過ぎには既に入場を謝絶する程の盛會なりき

○軍人家族授產婦人會　同會にては本部を赤阪榎町元と愛敬女學校內に移し此にて軍人の家族に軍服裁縫の職を與へ居らるゝが目下同會に通勤するもの二十四五人にして平均一日金拾錢（辨當は會の支辨）づゝ給與せり尙發企人及贊成員は每日順番を定め出張し監督に從事しつゝありと云ふ

○出征軍人家族慰問婦人會　同會は英、米、及白耳義公使夫人等さへも進んで役員となり熱心に盡力せらるゝ由なるが各區の幹事は每週木曜日事務所に打寄り每月給與すべき金額等を定め夫れ〴〵分配しつゝあるよしにて六月末日調加入申込口數二千九百二十二口（一口金五十錢）にて是迄は平均一家に付一ヶ月八拾錢づゝ給與を爲し來りしが本月より一圓づゝ給與することゝなりしよし

○佐賀縣女子義勇團　出征軍人の家族扶助の方法については各地方に於て夫々慈善的の設備あるとなるが佐賀縣女子義勇團の如きは最もよき設計の一なるべし同團の目的は軍人の家族をして裁縫を爲さしめ其賃金を與ふる目的にて設立せしものにして今日にては團員三千餘人に達し資金も數十圓集り工賃の支給も一人一個月平均四圓參拾錢を支拂ふに至り實際職業を執る事能はざる老幼の爲には富家の婦人及令孃交る〳〵市中に出て襤褸硝子屑紙片等一家の廢物を貰受け以て其費用に供しつつありと云ふ

○日本婦人矯風會　同會全國大會は去にし十二日より十五日まで四日間女子學院に於て開會各地支部より役員上京し戰時に於ける社會矯風問題を議したりと

○徒弟歡迎會　實業家の徒弟にして主家より休暇を貰ふの日は僅かに一年に春夏二度の藪入のみなるが此日とても多くは不健全の娛樂に耽るもの多きを以て江原素六氏等主唱となり去にし十六日藪入の日を以て神田青年會館に於て之れ等のものゝ爲に歡迎會を開けり當日は講談獨奏手品の餘興茶菓進呈等あり非常に盛會なりしよし此種の企は益す盛に行はれんとこそ望ましけれ

○文部大臣の訓令　文部大臣は去にし十二日左の訓令を發したり

叡聖文武なる　天皇陛下は軍國多事の時に當り此炎熱をも厭はせられず畏くも本月十一日を以て東京帝國大學に　御臨幸あらせられ且親く本大臣を召して左の　御沙汰を賜へり

軍國多事の際と雖も敎育の事は　忽にすべからず其の局に當る者克く勵精せよ

本大臣は此優渥なる　叡旨を拜し感激措く所を知らず謹て之を敎育に關係ある者一般に告知す庶幾くは國を擧げて　聖意の在る所を奉體し益々奮勵して敎育の效果を完うせんことを

廣告

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話（特）本局六七三番

定期預金 六ヶ月以上 年五分三厘
當座預金 百圓に付日步 八厘
特別當座預金 同 日步 壹錢壹厘

西川商舖牛豚肉販賣 謹告

品質佳良無比類　價廉我店所最勉
配達迅速而正確　夏季殊勉其防腐
普通配達日三回　市內何處不厭遠
若有臨時急用事　走自轉車而直辨
地方配達有便法　特勉西洋料理用
請試購而評其味

價格左ニ

牛肉百匁	円
ヒレー	50
ロース	45
ラン	38
ステキ	38
イチホン	38
ヒキ肉	30
ブリスケ	22
ハラスープ	16
スネスープ	20
尾	15
ケンネン	05
舌	42
ケンネン油	14
ヘット	16
豚肉百匁	
上等	20
並等	18
チヤブ	14
ヒキ肉	16
油	16

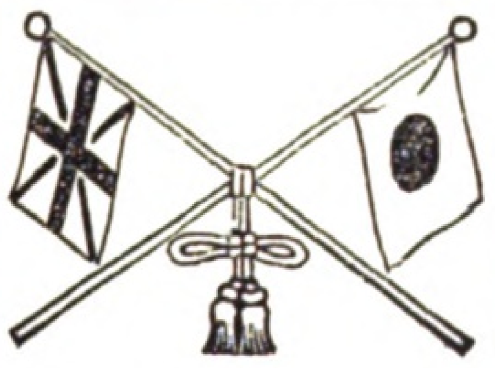
電話番町 六五九　西川本店　小石川表町廿二番地
電話下谷 二三七一　西川支店　本鄕區駒込東片町五番地

Ⓝ天然葡萄酒は米國產にして病後の營養四季の好飲料たるは帝國大學醫家諸大家の證明せらる處且全國衛戍病院各病院の常用品也

天然葡萄酒は第一回全國聯合醫學會より畏くも　小松宮殿下に獻納の光榮を得たる生葡萄酒なり

定價
大瓶金五拾錢　小瓶金參拾錢
銀棒金七拾錢　小瓶金四拾錢
金棒金壹圓　小瓶金六拾錢
紺札金壹圓五十錢　小瓶金八拾錢
冠印金貳圓　小瓶金壹圓拾錢

販賣所は全國に普く御最寄に御購求奉願候
發賣元 東京京橋鎗屋町 電新橋一一七三 長井越作



各國流行最新形
婦人服專門
神田區錦町三、一九
近岡助三郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大醫處方調劑

内外可溶性錠劑
消毒綳帶材料
葡萄酒滋養品類
醫療用諸器械

麴町四丁目
尾澤藥局

御用の節は電話番町百四十一番へ御願申候

工業用藥品
高等賣藥類
高等化粧品類
度量衡各種
和漢洋藥品類
外國諸鑛泉
衛生消毒分娩用具
寫眞用藥品
ゴム製氷袋類
線香、薫香類
舶來ミルク及哺乳器

以上正格に、誠實に機敏に、薄利に、輕便に、駿速に、熱心に信用を第一として御需用に應じ奉らんと期す、仰き希くは多少に拘はらず御愛需御賞用あらんことを敬白

東京市麴町區麴町四丁目十二番地（舊小西商店跡）
尾澤分店 藥劑師 尾澤洪 謹白
電話（番町百四拾一番）

季節向御進物用
よせきれ見切反物等
いろいろ取揃置候

神田今川橋
松屋呉服店
電話本局 六百八十八番 七百四十七番

家庭雑誌

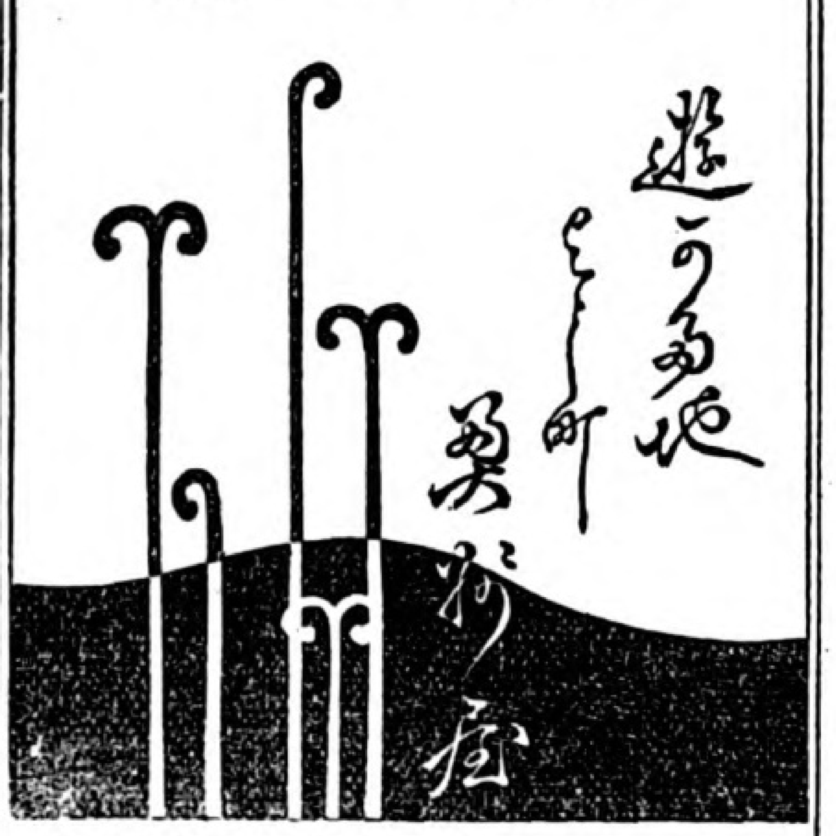
婦人の智識と地位とを高め兼て其慰めとなり導きとなるのは本誌です何にも増して家庭を愛し敬せねばならぬ奥様方に此雑誌をお薦めす

◎第二巻第七號（七月二日發行）要目
▲妻の涙（可憐なる心情を歌へる詩）▲婦人の二大事業（安部磯雄）▲一家經營上の難件（收入少き家の經濟の持ち方）▲フライの話（實地と學理的說明）▲英國の家庭教育（美育德育兩全の家庭を活寫せる小說）▲服裝問題（紋付と縞摸樣の研究）▲夏と飲用水▲其他讀者の爲に園藝法衛生料理等の應答をなす

◎定價壹冊六錢▲六冊三十二錢▲十二冊六十錢▲郵稅不要▲見本は郵券六錢にし送附す

發行所 東京麴町區中六番町十番地 由分社

金牌受領



登錄商標
金線草丁幾

●るゐれき●肺病●結核性諸病に特効ある最新發見藥なり
（注意）説明書御入用ノ方ハはがきニテ御一報アレ進呈ス
定價一磅入金三圓（遞送金廿錢）半磅入金壹圓五十錢（遞送費十五錢）粉末一號入金壹圓（遞送費十錢）

東京神田鍛冶町卅番地
製藥本舖 東光堂

特約販賣店
藥種貿易商 東京市日本橋區伊勢町 熱田彦兵衛
藥種貿易商 仝日本橋區室町三丁目 島田武兵衛

目

夏半ゑり帶揚
暑中景品進呈

御浴衣地 縮木綿絽縮○眞岡別織 紅梅織○島縮珍柄多く
○帶片側地○夏單帶○裾模様け出し○絞り兵兒地
○すゝめ形○ゑり治形○紀念形まげ入おろし小賣

新橋竹川町十二番地 電話新二〇二七 本店 ゑり治
神田表神保町壹番地 電話本局九五二 支店 ゑり治

磯乃親玉

東京日本橋區長谷川町
卸部 美濃磯本店 電話浪花二八五九番

小賣部
本郷區本郷五丁目 美濃磯本郷支店 電話下谷一四一五番
淺草區諏訪町 美濃磯淺草支店
日本橋區佐内町 美濃磯佐内町支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店

婦人科産科榊病院

院長 醫學博士 榊順次郎 每日午前診察
副院長 醫學士 久保徳太郎 每日夕刻診察
東京麴町三番町卅三（電話番町三九五）

産婆學新學期
通學生募集
東京日本橋區濱町三丁目七

産科婦人科
楠田病院

●水原産科婦人病院

○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

○産科婦人科櫻井病院

日本橋區矢の倉町十二番地 電話浪花二一九
院長 醫學士 櫻井郁二郎
診察午前院長 午後副院長

耳鼻咽喉科院

院長 ドクトル 山上兼輔
診療每日午前
四谷區本村町三十七番地
電話番町七三〇（士官學校前）

看護婦の需に應ず
東京看護婦協會
神田區錦町參、貳、（電本三三一四）

出征紀念章

玉寶堂
電話特九百六十五番
下谷千二百四十四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂 神田區表神保町三番地

◎東海堂 京橋區銀座四丁目

高等化粧品案內

高等バラ芳香入 衛生無鉛 雪おしろい

●本品には內務省東京衛生試驗所無鉛報告書を貼附せり現任警視廳第三部長栗本氏の試驗成績に依るも我國白粉無鉛製の優勝者として認められ貴婦人令孃方の御定用を蒙れり

煉おしろい 大金五拾錢 小金貳拾五錢
水おしろい 大金五拾五錢 小金貳拾五錢
玉おしろい 金拾錢
粉おしろい 大金參拾錢 小金拾貳錢

●御顔直し雪

●本品は四季共に輕便なる衛生打白粉にして懷中用化粧品として欠くべからず夏季には汗しらずに代用尤も妙なり。

美麗なるたとう紙包 定價金五錢

高等化粧水 花

●本品は肌を濃かに色を白くし日に燒くるを防ぎ、にきび、ひゞ、あせもを治す、其他『おしろい下』としては勿論皮膚病豫防劑として頗る奇効あり。

長壜 定價金三十五錢
小壜 定價金十五錢

束髮用 香油松風

●本品はふけ及び垢を去り優美なる艶を生ず且つ毛生液を配劑しあれば拔毛を止め毛髮を養成す日本髮には御くせ直しとして頗る妙なり。

長壜 定價金三十五錢
小壜 定價金十五錢

●電話端書の御注文に應じ申候
●賣捌所は各所到る所に有之候

◎本舗 東京麻布材木町（電話二四一四番） 寶商會

戰勝紀念!!!

御國白粉

改良無鉛!!!

定價金二十錢

東京銀座二丁目一
製造本舗 胡蝶園
（電話新橋二六四〇）

神田區表神保町一
電話本局二八五三番

戰勝紀念おびどめ日本志女

ゑり善

高尚清新の家庭小說

女夫波

本月十五日 前編發賣
洋布裝最美本前後二編 定價各六十錢

萬朝報記者 田口掬汀氏著
表紙 平福百穗氏案
口繪 鏑木淸方氏書

暑中見舞に恰好の贈品出でたり!!

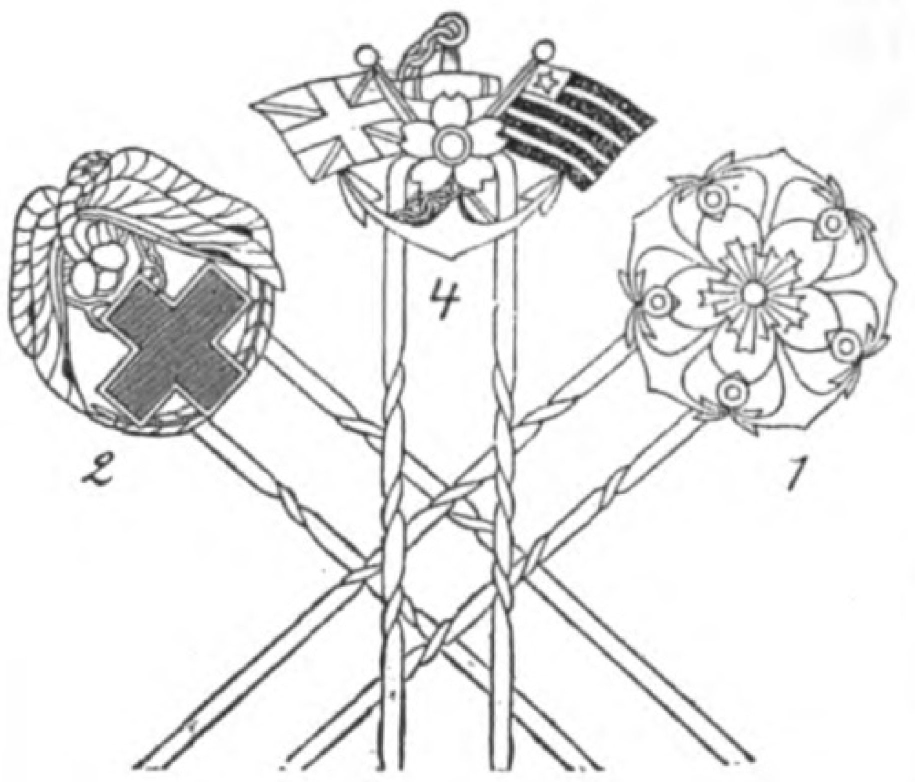
「女夫波」は高き心操を保ちて運命の逆潮と闘ひ行く若夫婦を主人公とせる高尚純潔の家庭小說なり
「女夫波」は明治上流社會一部の活書にして運命と生活との關係を寫せる長編にて文壇稀有の傑作也
「女夫波」は一度冷却せる夫婦の愛情を溫かならしめ不幸なる家庭を和合せしめし多數の實例を有す
「女夫波」は良妻賢夫を得んとする者に對する絕好の敎訓書にして且つ婦人處生の活ける修身書なり
「女夫波」は家庭の平和を望む者と生活の安慰を望む者の永久に備へざる可からざる必要書なり

發行所 東京本郷區彌生町三番地 金色社
大賣捌 東京堂 上田屋 北陸館 東海堂

第五回內國博覽會銀牌受領
其他內外各博覽會金銀牌受領

最上醬油

戰捷紀念簪



開戰以來向ふ所敵なき我陸海軍の大捷紀念として上圖の如き束髮ピンと前差とに兼用の簪發賣仕候

一號 陸海軍紀念
二號 赤十字紀念
四號 同盟の紀念

三種何れも純銀製にて金色と各色の七寶とを配合せしいとうるはしき品に候

此紀念簪は聊か戰捷の祝意を表し特別廉價にて差上候間御注文あらんことを

一號二號 金一圓
四號 金二圓五十錢
市外送料 金十錢

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
電話新橋五五一番

明治三十七年七月廿日發行（毎月五日二十日二回）

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 大日本女學會內

印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十七年七月二十日發行（毎月五日廿日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

愛國婦人第五十八號附錄

評議員
伯爵夫人徳川知子
（徳川達孝氏夫人）

京都支部幹事
牟井佐賀子
（二等有功章受賞者）

熊本支部幹事
東やす子
（二等有功章受賞者）

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　大日本女學會内愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本女學會編纂

婦人寶典

和紙摺帖入全五冊　頗る美本紙數一千三百頁　實價金三圓三十錢　小包郵税金二十錢

洋紙摺全一冊　總クロス金文字入　紙數同上　實價金二圓二十錢　小包郵税金二十錢

此書は小松宮賴子殿下の總べさせられ女學の通信教授を以て世に名高き大日本女學會に於て多年蒐集されし所の女學に關する和漢洋の諸材料中より最も婦人に適切なる部分を拔萃したるものと新たに名家の起稿されたるものとを一書にまとめ以て婦人座右の良師友たらしめんが爲に編輯されしものにて殊に其學藝諸科目は何れも專門大家の擔任に係り實に世に類なき婦人寶典なり其目次並に講述者左の如し

本文

○女子修身　女子高等師範學校教授　佐方鎭子
○禮法　同上
○家庭教育　三輪田高等女學校長　三輪田眞佐子
○家事管理　女子高等師範學校教諭　後閑菊野子
○家事經濟　同上
○家事衞生　東京帝國大學名譽教授醫學博士　三宅秀
△衣服　同上
△飲食物　同上
△住居　同上
△動靜　同上
△育兒　同上
△婦人衞生　同上
△看護　東京醫科大學教授醫學博士　吳秀三
○裁縫　東京裁縫女學校長　故渡邊辰五郎
○割烹　田邊和氣子
○挿花　同上
○點茶　同上
○作文　今泉定介
○作歌　御歌所寄人　坂正臣
○習字　御歌所參候　大口鯛二
○畫學　女子美術學校教授　武村千佐子

○音樂(明治音樂會幹事東儀季治)○刺繡(共立女子職業學校刺繡主任教師木村仲子)○造花(同校造花主任教師金子支江子)○編物(同校編物主任教師磐原繁尾子)○組絲(同上)○兒童心理(日本女子大學校教授高嶋平三郎)○なりむすび○食品分析表○歌書式○歌御會始預撰歌集○婦人名歌集○交際の栞○泰西禮法一斑○家庭遊戲○各地特殊の料理○法制大意○經濟大意○女訓○和書解題○漢書解題

卷頭挿畫

○上古、天平、藤原、鎌倉、足利、德川、今代、各婦人服裝の彩色畫(村田丹陵筆)○光明皇后、紫式部、承香殿女御、小大君、平政子、山内一豐夫人、各筆蹟寫眞○明治貴婦人筆蹟寫眞○明治閨秀筆蹟寫眞(以上口繪)此他卷中の挿畫數百個

◎本書は内容の有益多趣なるのみならず外形をも高尚優美に裝飾せる者にて進物賞品等に極めて適當なり◎本書は各特約書肆に發賣を託しあり御便宜の場所にて御購求を乞ふ◎本書の見本御入用の御方は往復はがきにて御申込次第進呈すべし

發行所　東京京橋區柳町五番地　郁文舍＝大阪東區南本町四丁目　積文社

◎右の書籍發行につき本會事務所に於て購讀者の便宜を計り次の特別割引を以て本會々員會友並に「をんな」愛國婦人讀者達へ送本方取扱ひ候●和裝割引代價金貳圓九拾錢●洋裝同金壹圓九拾五錢(但し小包郵便料前揭の通り貳拾錢を要し候尤も東京市内は郵送料を要せず候)

東京麹町區下二番町三十七
大日本女學會事務所(電話番町一三三〇)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN